

|市|内|5|大|学|等|連|携|に|よ|る|市|民|公|開|講|座|

日 時 平成20年
10月18日(土)、26日(日)、11月1日(土)
13:30～16:45 (90分間×2講座)

対 象 者 市民の方ならどなたでも

定 員 30名

受 講 料 1,000円 (全6講座分、資料代等として)

申込み期間 9月16日(火)～10月3日(金)まで**先着順**で受付

申込み方法 郵送、FAX又はEメールに必要事項を記入の上、
下記申込み先まで送付してください。

※必要事項：氏名(ふりがな)、性別、年齢(年代)、住所、電話(FAX)番号

受講申込みが
必要です

1 時間目
13:30 >>> 15:00

久留米市の 地域ブランド「食と農」

～食育推進プランと信愛女学院スイーツの開発～
久留米信愛女学院短期大学 教授 廣畑 一代

久留米市の食育推進プラン(昨年策定)と、
地元産のフルーツを利用したブランド菓子の
開発を紹介し、久留米市の地域ブランドと
しての「食と農」について考えます。

2 時間目
15:15 >>> 16:45

久留米市の家族構成の変化と 魅力ある高医療・福祉のまちづくり

～やすらぎのあるまちづくり～

聖マリア学院大学 教授 入部 久子

家族看護学の視点から、現在の変化する家族の構造(形
態)と家族機能の側面より、これからの久留米のブ
ランドイメージとなりうる“やすらぎのある
まちづくり”について考えます。

久留米学術研究都市づくり 推進協議会

久留米市企画財政部企画調整課内(担当:池田)

〒830-8520 久留米市城南町15番地3

TEL(0942) 30-9111 / FAX(0942) 30-9703

Eメール kikaku@city.kurume.fukuoka.jp

1 時間目
13:30 >>> 15:00

地域ブランドを 創造する

～地域ブランドの必要性～

久留米大学 教授 大矢野 栄次

久留米市を流れる大河筑後川の歴史、文
化と人々との関わりを振り返りながら久留
米のブランド力を考え、地域ブランドの意
義、地域活性化に果たす地域ブランドの役割
について学びます。

**10月
18日 土**

2 時間目
15:15 >>> 16:45

地域ブランドの 背景としての歴史

～久留米学と地域ブランド～

久留米大学 教授 大矢野 栄次

久留米という名の由来は、文献上、まず「久留目」と表現され、室町
時代から安土桃山時代にかけて、「久しく米が留まる」処とし
て、久留「米」に転じたとされています。現在の農業都市
久留米に繋がる、このような久留米の歴史を考
察しながら、久留米ブランド構築の可
能性を探っていきます。

会
場

10/18
11/1

六ツ門大学

久留米市六ツ門町
六ツ門サンロード(井筒屋裏の向側テナント)2階

10/26

信愛コラボレーションプラザ リリウム

久留米市天神町
リバービル(西鉄久留米駅東口隣)4階

※いずれの会場も指定駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※開催日で会場が
異なりますので
ご注意ください。

1 時間目
13:30 >>> 15:00

久留米の 歴史・文化と地域ブランド

～ものづくりの伝統、からくり儀右衛門を参考に～

久留米工業大学 准教授 井川 秀信

久留米出身の“からくり儀右衛門”こと田中
久重は、36歳頃まで久留米に住み、久留米で
学んだものづくりの経験を活かして様々な発
明品を世に残しました。この久重の足跡を尋ね、
ものづくりとしての地域ブランドを考えます。

**11月
1日 土**

2 時間目
15:15 >>> 16:45

JAPANブランドと 地域産品

～ブランドとアノニマスを考える～

久留米工業高等専門学校 教授 藤田 雅俊

日本の伝統的工芸品再生と地域活性化に寄与する「JAPAN
BRAND事業」について紹介し、あわせて、無名であるが
ゆえに美しいモノのあり方を見直す視点から、有名
性と無名性の間で揺れ動く地域商品につい
ても考え、地域ブランドの課題
を探ります。

久留米 久留米の魅力発信!! ブランドの創造